

性能評価

「防護柵の設置基準・同解説」(H28.12)の性能規定に基づいた実車衝突実験を実施し、車両の逸脱防止性能・乗員の安全性・車両の誘導性などの必要な性能を有することを確認しました。



小型車衝突実験



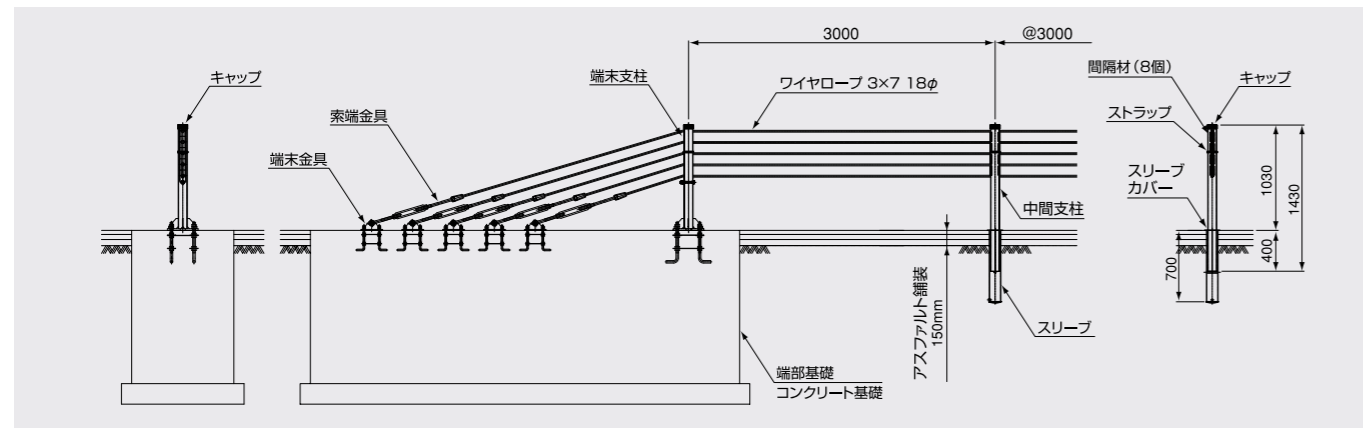
大型車衝突実験

車両用防護柵性能確認試験実施証書



依頼者 独立行政法人土木研究所寒地土木研究所
 防護柵の名称 ワイヤロープ式防護柵
 防護柵構造 別紙—1：防護柵構造図「試験番号：土研セ街B:11-09(試験1), A:11-10(試験2)」による
 (注) 防護柵構造図は、鋼製防護柵協会 (JFE 建材株式会社、神鋼建材工業株式会社、東京製鋼株式会社、日鉄建材株式会社) 作成

製品仕様



部材	材質・規格	表面処理
ワイヤロープ	JIS G 3525「ワイヤロープ」に準拠 3×7 G/O φ18mm、保証破断荷重160kN以上	素線に対し垂鉛めっきを施し、その付着量は300g/m ² 以上
端末金具	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400	JIS H 8641「溶融垂鉛めっき」HDZ55 (550g/m ² 以上)
端末支柱	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400 JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」SS400	
中間支柱	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400	
スリーブ	JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」STK400	

NSMP 日鉄建材株式会社

本社：〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX 13階

●本社の担当部署は下記の通りですのでご照会下さい。

道路・土木商品部：TEL03-6625-6210 FAX03-6625-6211

支店・営業所

長野営業所	☎ 026(228)6318 FAX 026(228)6317
北海道支店	☎ 011(281)2551 FAX 011(231)6237
東北支店	☎ 022(221)4573 FAX 022(265)6553
北東北営業所	☎ 019(652)4648 FAX 019(651)7445
釜石営業所	☎ 0193(22)5167 FAX 0193(22)5168
新潟支店	☎ 025(247)1321 FAX 025(241)8304
静岡支店	☎ 054(255)0441 FAX 054(251)2950

名古屋支店	☎ 052(564)7228 FAX 052(564)4754
北陸支店	☎ 076(432)6306 FAX 076(432)1675
大阪支店	☎ 06(6202)1684 FAX 06(6202)2006
四国支店	☎ 087(823)4123 FAX 087(823)4124
中国支店	☎ 082(511)1008 FAX 082(223)0538
山陰営業所	☎ 0852(27)5323 FAX 0852(27)1145
九州支店	☎ 092(281)8114 FAX 092(281)9909
南九州営業所	☎ 099(250)9505 FAX 099(250)8664
沖縄営業所	☎ 098(861)7911 FAX 092(281)9909

■ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を証明するためのものであり、[規格]の規定事項として明記したのも以外、保障を意味するものではありません。
 本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。
 また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、各担当部署にお問い合わせください。
 本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。



NIPPON STEEL

PAT.P

中央分離帯用

ワイヤロープ式防護柵



日鉄建材株式会社

対向車線への車両の飛び出しを抑止、道路の安全性を大幅に向上します。

中央分離帯用ワイヤロープ式防護柵は、郊外の2車線道路で車両の飛び出しによる正面衝突事故抑止対策として、鋼製防護柵協会（JFE建材、神鋼建材工業、東京製綱、日鉄建材）と国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所との共同研究により開発されました。

省スペースで設置することができ、耐衝撃性に優れ、短時間で復旧などの特長を有しています。

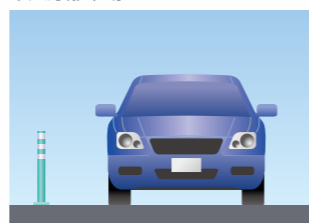
省スペースで設置が可能

現在、2車線道路の中央分離帯に一般的に用いられているラバーポールは、車両の突破を防止する機能はありません。中央分離帯用ワイヤロープ式防護柵は安全性に優れ、また支柱径が細いため省スペースでの設置が可能です。

中央分離帯用ワイヤロープ式防護柵



中央分離帯用ラバーポール



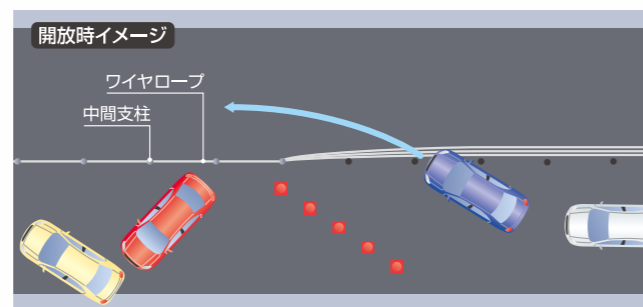
高い衝撃吸収能力

車両が衝突した際に中間支柱が変形して倒れ、車両をワイヤロープで受け止めて衝撃を緩和し、安全に誘導する構造になっています。ワイヤロープ式防護柵は、衝突時の乗員安全性を確保する高い衝撃吸収能力を有しています。



中央分離帯開口部の確保が容易

事故等により車線がふさがれた場合、ワイヤロープを緩めて中間支柱を取り外し、片側交互通行にすることで交通を確保することができます。早期に交通を開放することにより渋滞の緩和、追突事故の抑止等の効果が期待されます。



短時間で復旧工事が完了

中間支柱はスリーブ構造を採用しており、破損した場合、支柱を抜き取り新しいものと交換してワイヤロープを調整することで工事が完了します。従来時間を要していた復旧を短時間で完了することができます。



施工手順



1 アスファルトをコア抜きし、エアーストライカーによりスリーブを打込みます。



2 端末支柱、端末金具をアンカーボルトによりスリーブを打込みます。



3 端末支柱用間隔材にワイヤロープを通し、端末支柱の溝にストラップと共にセットします。



4 索端金具、ターンバックルを取り付け、ジョーボルトで端末金具に固定します。



5 スリーブに中間支柱を挿入し、スリーブカバーをセットします。



6 ワイヤロープ、間隔材、ストラップをセットし、キャップを取り付けます。



7 ワイヤロープを仮緊張します。



8 余分なワイヤロープをカットし、索端金具を装着、端末金具に固定します。



9 ターンバックルにより張力の調整を行い終了です。

